



会報

一般社団法人 人間力認定協会

理解は支援の第一歩！

支援の輪を拡げよう！

受講者数四千名突破

発達支援資格の代表資格に！

二〇二一年一月に認定を開始した児童発達支援士の受講者数が四千名を突破しました。他の発達障害児支援資格の受講者数を調査した結果、四千名という数は他を圧倒する数であることがわかりました。これも皆様のご協力があったことでございます。この場を借りて御礼申し上げます。

二〇二一年七月には新規認定資格として、発達障害コミュニケーションセッションサポーター資格の認定を開始いたしました。こちらは、認定開始から二か月で八〇〇名を越える方が受講して下さいております。こちらの資格は幼稚園や放課後等デイサービス、療育施設で働かれている方の受講が多くなっております。

これらの結果からも、発達障害に関する意識が非常に高まっていることがよくわかります。最近では、芸能人が発達障害を公表するというニュースも目にするようになってきました。地道で亀のような歩みかもしれませんが、それでも着実に世間の目は変わりつつあるのではないのでしょうか。

当協会では支援の輪を拡げるために、まずは受講者数一万名を目標にしています。適切な支援を子供たちに施すためには、理解者を増やす以外に道はありません。そのためには皆様のご協力が不可欠となりますので、どうぞ今後とも変わらぬの応援・普及活動をお願い申し上げます。

理事長より挨拶

～協会活動の目的と使命～

今年開講した「児童発達支援士講座」と、「発達障害コミュニケーションサポーター講座」は、どちらもたくさんの方々にご受講頂いております。皆様にはこの場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

「人間力認定協会」は、すべての人が天から与えられている非認知能力（人間力）に目を向け、引き出し、育成するために設立されました。これは、特に障害を持つ子供たちが幸福な人生を送るためには不可欠です。

当協会は今回の講座を通して、同じ志を持つ数千人の同志と繋がることが出来ました。これは各都道府県に百人の支援士が誕生したことになります。今後は認定支援士を中心に、この世に生を受けたすべての子供たちの幸福な人生を支援することを使命とし、皆様と共に邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

人間力認定協会

代表理事 井上智之



情報共有の場 意見交換会



プライバシー保護のため
画像をぼかしています

第二回意見交換会の様子(2021.8.4)

大好評の意見交換会

皆様からご希望頂いていた、会員様同士の交流の場を設けるために、二〇二一年七月より「意見交換会」を実施しております。

意見交換会はZOOMを利用したオンライン形式となり、およそ一時間の会となっており、意見交換会では、全員が発言する時間があり、自らの経験談や受講するに至ったきっかけを発表していただいております。現在、一か月に一度開催しており、既に七月四日・八月四日に実施。九月は四日に実施を予定しております。

意見交換会で発表頂いた内容の中には、多くの方に共有すべきだと感じるものが多くあるため、個別にお声掛けをして、マンツーマンのインタビュ動画や理事長ブログにてご紹介する

ためのインタビュ記事という形にして、拡散しているかと考えています。

皆様が経験されていることは、多くの保護者の気持ちを楽にし、子育てに役立てられるものばかりでございます。支援の輪を拡げるためには、情報共有と拡散が非常に重要になります。お声掛けさせていただき、是非ご協力をお願い申し上げます。

今後も認定支援士の皆様を優先的に招待させていただきますながら、会を運営してまいりますので、是非ご都合がつかましたらご参加願います。今後は意見交換会だけではなく、各種セミナーやより専門的な内容のお話しをする分科会などの開催も検討しております。いずれの場合もメールにて伝達いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

拡がる認定支援士の輪

新たにご登録いただいた認定支援士のご紹介

個人情報保護のため、ぼかしを入れています

認定支援士より頂いたメッセージをご紹介します

(全員のメッセージを紹介しきれないため、今回は一部の支援士のみご紹介します)

西
エリア

団体名なし

上原弥寿子さん

―資格取得のきっかけは？

今まで、幼稚園や、認定こども園で、加配担当をしてきました。こどもたちの保育をしてきた中で、こどもたちの思いにもっと寄り添えるために、発達障害児についてもっと学びたいと思うようになりました。現在は、児童発達支援事業所で療育をしているので、活かしていきたいと思っただのがきっかけです。

―認定支援士になった理由

子育てに、発達障害児の支援に、保護者の気持ちに寄り添って、深く支援が出来るようになりたいと思います、児童発達支援士認定支援士になるうと思いました。

―今後の活動予定は？

こどもたちの心に寄り添い、保育や療育に役立てたり、保護者支援をしていきたいと思えます。

東
エリア

団体名なし

水田由紀子さん

―資格取得のきっかけは？

自分の子供が自閉症スペクトラムで小学一年からほとんど学校に行けず、病院で入院を繰り返しながら現在小学六年生になり、私自身も自閉症に関しての本を読んだりしてきましたが、親の私が専門的知識をもっと深く身につけることが出来たら、我が子のサポートをより良くしてやるのではないかと思っただけです。

―今後の活動予定は？

我が子のサポートが中心になりますが、できるなら苦しんでいる親御さんのために何かできたらと思っております。そして自閉症を抱えていても本人も家族も楽しく笑顔で生きていける世の中になるように、自然に気負わず生きていけるように、まずは学校で何か出来たらいいなと思っております。

東ア
関エリ

団体名なし
水戸恵さん

―資格取得のきっかけは？

小児科看護師をしていま
す。発達障害のある患児やそ
の家族に対し、何かできるこ
とはないかと思い、まずは児
童発達支援士を学び、発達障
害に対する知識を養い、患児・
家族に寄り添う基盤を作らた
めです。

―さらに深めたい知識は？

医学的な治療に合わせたケ
アや声かけ、アドバイスのポ
イントが知りたいです。

―今後の活動予定は？

まずは現在勤めている病院
に受診する患児・家族の支え
をしつかり行い、さらに知識
を増やすことで、家族へのア
ドバイスを個別性を持って行
えるようにしていきたい。

道ア
北海エリ

NPO法人 共育サポート
米田 秀昭さん

―資格取得のきっかけは？

三十年近く地域の不登校自
立支援ボランティアを行って
きました。郡部の地方自治体
では先進的な活動もなかなか
評価されず苦しむ子供たち途
方に暮れる保護者がたくさん
います。あれもこれもは難し
いですが、社会運動としてま
ずは発達障害中心に視点をし
ぼり真の学習権の確保のため
の運動として広く社会に問い
かけるツールとして取得しよ
うと思いました。

―学んでよかったことは？

保護者と意見交換をする際
にそれぞれがどのステージに
いてどういうハードルの前に
立っているかを的確に判断す
る材料が増えました。これま
で私の活動を知らなかった保
護者にも児童発達支援士の名
称があることで安心感にもつ
ながることもあります。

東ア
関エリ

団体名なし
伊藤 陵子さん

―資格取得のきっかけは？

自身の子どもが二次障害の
発症で、医師でも気付きにく
い発達障がいがあるというこ
とがわかり、医師や理解ある
方々に支えられてきたおかげ
で、今までがんばることがで
きました。この経験を活かし
て、同じようなお子様や保護
者の方の力添えになることが
できればと思い、療育の仕事
に就きたいと考えました。し
かし、無資格で雇ってもらえ
るところは多くありませんで
した。実務経験などの受験資
格を設けていない児童発達支
援士の資格を見つけ、こちら
の資格を取るのが一番の近道
だと思いい験を決めました。

―今後の活動予定は？

療育を行っている施設に勤
務して知識を深め、生きにく
いと感じているお子様やお子
様を支える保護者に寄り添っ
ていきたいです。

西ア
関エリ

発達障がい支援センター
真鍋 良得さん

―資格取得のきっかけは？

子供が発達障害があると診
断された時、私自身も発達障
害であることに気づきまし
た。子供の頃からほかの子が
できることができず、自分が
普通でないことに苦しんでい
た理由が、その時ようやくわ
かりました。この資格を取る
ことで、発達障害についての
知識を深め、正しい理解をし
たいと思いました。

―今後の活動予定は？

わが子が不登校になり、発
達障害と診断され、自分自身
も発達障害であることがわ
かったことで、ではどうすれ
ば幸せになれるのか、その方
法を追い求める中で私自身が
カウンセラーになり同じよう
に悩んでいる人たちの力にな
りたいと思いました。今後は
講演やカウンセリングを通じ
て発達障害に関する知識を伝
え支援を行っていきます。

道
北
海
エ
リ

MISA Company
平松 美沙さん

資格取得のきっかけは？

自身の子ども三人がADHDと診断されています。今後、自分の子供たちの笑顔を増やすために児童デイを事業として開所していきたいとプランニングしている為です。

学んでよかったことは？

発達障がいの中でも、多数の診断名があり、個々に現れる症状が異なり、かつ、重複する症状も備えている。といった肌に近い医学的知識を得られたことです。

今後の活動予定は？

立ち上げる児童デイの活動内での支援。上記、親御様への支援メッセージ。居住地でのセミナー活動。自身のSNSでの発信。

東
東
エ
リ

団体名なし
古川 秀美さん

資格取得のきっかけは？

三人の発達障害児を育てていますが受講をする前に、子供達へのアプローチ方を模索していたのに加え、障害のあるお子さんをサポートする仕事をしたかったので学ぶことにしました。今の夢は障害児を抱える親御さんやお子さんをサポートできるようなカウンセラーを目指しています。

支援をしていて最も辛かったことは何ですか？

特性がそれぞれ違うので対応に大変困りました。長男が二次障害になってしまい、気づいてあげられなかった自分を責めました。対応を変えたら安定していききました。

そしてやはり一番辛かったのは三人の子供が発達障害とわかり、自分を責めましたね。

中
国
エ
リ

団体名なし
本田 文子さん

さらに深めたい知識は？

実際の療育の現場ではどのようなトレーニングをするのか、どのような雰囲気なのか、どのような障害、特性の子にどのような声かけ、トレーニングが必要なのかを考察していきたいと思っています。

今後の活動予定は？

現在の職場で発達障害、あるいはグレーのお子様、その保護者の方の心の拠り所になること、そしてブログやSNSを通して、発達障害児を持つ保護者の方とのコミュニケーションを活発に取ること。また、世の中の情勢を鑑みつつ療育現場に見学やボランティアに行き、様々なケースを体験しつつ最新の療育を勉強しながら知識を深め、必要としていらっしゃる方々へ発信できたらと考えています。いずれセミナーや講習会を開けるようにスキルアップしたいです。

～支援士の活動サポート～

活動団体やWEBサイトの紹介

皆様の活動を応援するために、当協会のWEBサイトにて皆様の団体やブログ等をご紹介します。もしご希望の方がいらっしゃいましたら、事務局の望月までご連絡ください！支援の輪を共に広げていきましょう！ ninkyu.mochizuki@gmail.com

(活動団体のご紹介事例)

児童発達支援士を導入している団体

 <p>発達障がい支援センター 発達障がい支援センター</p>	 <p>児童発達支援 みくりび 児童発達支援 みくりび</p>	 <p>ピースフル ピースフル</p>
 <p>FIPSTA (フィプスタ) 大阪府中央区、ダンス&リズム教室</p>	 <p>GROWING (グロウイング) 兵庫県芦屋市、放課後保育学習塾</p>	 <p>シマクリエイト 愛知県豊田市、ICT学習塾</p>